

レジメン名	R-大量MTX療法
対症疾患（癌種）	中枢神経B細胞性悪性リンパ腫
適応分類	<input type="checkbox"/> 進行・再発 <input type="checkbox"/> 術後化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法 <input checked="" type="checkbox"/> その他

投与薬剤（支持療法薬剤も記入）

No.	薬剤（商品名・一般名）	1回投与量	溶解液・用量	投与方法	投与時間	投与日 (d1,d8 など)
1	リツキサン	375mg/m <sup>2</sup>	生食（リツキシマブ 濃度1mg/ml相当）	点滴静注	25mg/h～	d1
2	ベポタスチン錠 (タリオン)	10mg 1錠		内服	リツキサン投与 の30分前	d1
	アセトアミノフェン錠 (カロナール)	200mg 2錠				
3	アロキシ	0.75mg	50mlバッグ	点滴静注	10分	d2
	デキサート注	9.9mg	アロキシに混注			
4	メイロン8.4%	20ml	ソルデム3A500ml	点滴静注	4時間	d1
5	メイロン8.4%	20ml 6A	ソルデム3A3000ml	点滴静注	24時間	d2-5
6	ダイアモックス注	250mg	生食50ml	点滴静注	15分	d2
7	メソトレキセート注	3000mg/m <sup>2</sup>	生食500ml	点滴静注	4時間	d2
8	ダイアモックス錠	250mg 1錠		内服	尿量600ml/6時 間以下時	d2-5
9	メイロン8.4%	20ml		静注	尿Ph7.5未満時	d2-5
10	ロイコボリン注	15mg	MTX終了18時間後か ら6時間ごと	静注		d3-5

投与間隔（1コース期間）	14日
総コース数	2-6コース
主な副作用	骨髄抑制、口腔内潰瘍、下痢、下血、肝障害、腎障害、嘔吐。MTX開始24時間後の血中濃度が10μM、48時間後に1μM、72時間後に0.1μM以下であることを確認する。安全域に入っていない場合には輸液とロイコボリン投与の延長を行う。